

港湾局長の海外出張について

平成27年度の港湾局長の海外出張についてお知らせします。

1 出張者及び出張先

出張者： 港湾局長 武市 敬

出張先： ニューヨーク・ニュージャージー港、シアトル港(アメリカ合衆国)

2 出張期間

平成27年9月1日(火曜日)から同年9月6日(日曜日)まで(4泊6日)

3 出張用務

アメリカの港湾管理者や船会社等を訪問し、管理や運営に関する情報を収集するとともに、東京港のPR活動を行う。

4 経費

1, 282, 380円

5 同行者数

2名

6 出張先での行動

9月1日(火曜日)

移動日(成田→ニューヨーク)

9月2日(水曜日)

ニューヨーク・ニュージャージー港訪問

(港湾管理者訪問、姉妹港提携 35 周年行事実施、コンテナターミナル等視察)

在ニューヨーク日本国総領事館 訪問

9月3日(木曜日)

移動(ニューヨーク→シアトル)

9月4日(金曜日)

シアトル港訪問(港湾管理者訪問、ターミナル視察)

ホーランドアメリカ社、シーボーン・クルーズ社訪問

9月5日(土曜日)
移動日(シアトル発)

9月6日(日曜日)
帰国日

7 出張の成果

(1) ニューヨーク・ニュージャージー港

ニューヨーク・ニュージャージー港湾公社において港湾施設の視察を行うとともに、姉妹港提携 35 周年行事を実施し、東京港とニューヨーク・ニュージャージー港のさらなる関係強化を図った。

ニューヨーク・ニュージャージー港は、主に6つのコンテナターミナルがあり、ニューヨーク・ニュージャージー港湾公社が土地を所有し、ランドオペレーターに貸し付けている。各ターミナルはサービス・価格等で競争し、切磋琢磨し合って結果的に質の向上に繋がっている。

また、在ニューヨーク日本国総領事館を訪問し、大使への表敬訪問を行うとともに、領事と港湾物流等についての意見交換を行い、東京港に関する理解を深めていただくことが出来た。

(2) シアトル港

港湾管理者を訪問し、港湾経営等に関する意見交換を行うとともに、港湾施設の視察を実施した。

シアトル港は、本年8月に競合港(バンクーバー港、プリンスルパート港)と対抗するため、近隣のタコマ港と港湾運営・開発で協働することを決定し、「ノースウエストシーポートアライアンス」を結成した。当アライアンス結成の目的は、ライバル港との競合で優位に立つこととパナマ運河開通を見据えたビジネスチャンス拡大であり、長期的な視野に立った港湾経営を行っている。

また、シアトル港はクルーズ客船事業にも注力しており、空港と連携してフライ&クルーズを推進するなど利便性を高める取組を展開している。シアトル港のクルーズ振興策を参考にしながら、今後も東京港における客船誘致事業を積極的に進めていく。

さらに、クルーズ船社「ホーランドアメリカ・ライン社」及び「シーボーンクルーズ社」を訪問し、東京港のPR活動を行うとともに、日本におけるクルーズマーケットや港湾整備に関して活発な意見交換を行うことが出来た。今回頂いたご意見を踏まえ、ハード・ソフト両面からユーザーにとって使いやすい港になるよう整備を進めていきたい。

8 お問合せ先

港湾局港湾経営部振興課
03-5320-5529